



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

東・名

上場会社名 株式会社メニコン

上場取引所

コード番号 7780

URL http://www.menicon.co.jp

代表者 (役職名)代表執行役社長

(氏名)田中 英成

問合せ先責任者 (役職名)執行役経営管理室長

(氏名)太田 章徳

(TEL) (052) 935-1515 (代表)

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	49,971	6.8	3,445	84.1	3,413	97.5	1,853	146.7
27年3月期第3四半期	46,774	—	1,871	—	1,727	—	751	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,822百万円(88.6%) 27年3月期第3四半期 966百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	105.22	103.70
27年3月期第3四半期	45.98	—

(注) 当社株式は平成27年6月25日に東京証券取引所市場第一部および名古屋証券取引所市場第一部に上場しております。平成28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成28年3月期第3四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	68,226	38,222	38,244	33,801	56.0
27年3月期	67,609	33,872	33,872	33,801	50.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 38,222百万円 27年3月期 33,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,877	4.4	3,175	10.9	3,175	12.5	1,804	26.1	101.43

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は公募株式数(1,500,000株)および第三者割当増資による株式数(345,000株)などを含めた期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	18,259,000株	27年3月期	16,344,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	—	27年3月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	17,620,614株	27年3月期3Q	16,344,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
- ・業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきましては、アメリカ経済が堅調な推移を見せる中で欧州における債務危機、政情不安および中国の景気減速など、今後の経済動向に不透明感が残る状況でした。一方国内経済につきましては、継続的な雇用改善、名目賃金の上昇を受けた個人消費の持ち直し、および好調な業績を受けた企業の設備投資が増加するなど緩やかな回復基調にあることが伺えます。

海外コンタクトレンズ市場におきましては、使い捨てコンタクトレンズの影響により拡大傾向にあります。中でもアメリカ、カナダなどの北米における1日使い捨てコンタクトレンズ市場が伸長しております。また国内コンタクトレンズ市場につきましても、若い女性を中心に支持を得ている瞳の色を変えるカラーコンタクトレンズ、瞳を大きく見せるサークルレンズの市場への浸透などもあることから市場を拡大させる要素も認められます。このような状況の下、当社グループは瞳の安全を最優先に考え、より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献することを目標に事業基盤の更なる拡充、拡大に努めております。

国内コンタクトレンズ事業におきましては、定額制会員システム「メルスプラン」の一層の拡大のため、新入学の時期および冬休み期間と併せて会員紹介キャンペーンを実施致しました。新商品導入につきましては、7月に国内初となる乱視用2週間交換型サークルレンズ「2WEEK Menicon Rei Toric」を、12月には遠近両用2週間交換型レンズ「2WEEK Menicon Premi0 遠近両用」を全国発売し、拡大傾向にあるサークルレンズ市場および遠近両用レンズ市場における販売拡大に努めました。また、近年成熟傾向にあるケア用品市場につきましては、「メルスプラン」内のケア用品宅配サービスである「ケアプラス」の会員獲得を強化することにより、当社顧客の固定化を進めました。このように販売拡大に積極的に取り組む一方で、経費管理の面につきましては、広告宣伝費および販売促進費などの販売経費の効率的な使用を進めました。

海外コンタクトレンズ事業におきましては、主に欧州、北米、アジア地域にて当社グループ海外向けオリジナルブランドである「Miru」の浸透に努めております。北米、アジア地域におきましては大手のチェーン店および代理店に対して「Miru 1day Flat Pack」などの「Miru」ブランド製品および一部をプライベートブランド製品として供給するなど販売に努めております。また、欧州では当社グループの強みであるハードコンタクトレンズ販売に注力するとともに、同ブランド製品の販売促進活動を進めております。今後も自社製品の品質の高さを活かして海外におけるシェア拡大に努め事業基盤の強化に取り組んでまいります。

その他事業につきましては、当社子会社である(株)メニワンでの動物医療機器や犬猫用のサプリメント、および当社環境バイオ事業でのたい肥化促進剤などの製品販売が堅調に推移致しました。また、この他にもライフサイエンス事業などにおいてコンタクトレンズ研究の過程で培った技術を活かした製品が実績をあげております。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、コンタクトレンズの物販売上およびメルスプラン会員数増加に伴う月会費収入が増加したことにより売上高は49,971,072千円（前年同四半期比6.8%増）となりました。また、販売費及び一般管理費の効率的な使用に取り組んだ結果、営業利益は3,445,186千円（前年同四半期比84.1%増）、経常利益は3,413,021千円（前年同四半期比97.5%増）となりました。以上の要因により親会社株主に帰属する四半期純利益は1,853,998千円（前年同四半期比146.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンタクトレンズ関連事業

コンタクトレンズ関連事業は主にメルスプラン会員数増加に伴う月会費収入が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は49,068,670千円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

②その他

その他事業は主に当社子会社である(株)メニワンの動物医療事業売上高が伸長したことを受け、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は906,235千円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末において総資産は68,226,118千円となり、前連結会計年度末と比べ616,122千円の増加となりました。流動資産は現金及び預金の増加等により3,055,282千円増加し、29,908,805千円となりました。また、固定資産は減価償却等により2,439,159千円減少し、38,317,313千円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は社債の償還および借入金の返済等により前連結会計年度末に比べ3,755,212千円減少し、29,981,943千円となりました。また、純資産は株式の発行等により4,371,335千円増加し、38,244,175千円となり、自己資本比率は56.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績につきましては堅調に推移しておりますが、第4四半期連結会計期間において需要期に向けた広告宣伝費および販売促進費などの投入を予定しているため、平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年6月25日付の「東京証券取引所第一部及び名古屋証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,827,161	11,139,333
受取手形及び売掛金	7,180,972	7,681,335
有価証券	110,501	213,320
商品及び製品	6,582,729	6,756,877
仕掛品	485,885	524,524
原材料及び貯蔵品	1,348,087	1,315,241
繰延税金資産	833,842	760,521
その他	1,584,323	1,622,941
貸倒引当金	△99,981	△105,291
流動資産合計	26,853,522	29,908,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,430,288	18,492,098
減価償却累計額	△8,396,505	△8,840,012
建物及び構築物(純額)	10,033,782	9,652,086
機械装置及び運搬具	19,443,913	20,159,879
減価償却累計額	△11,825,761	△12,527,798
機械装置及び運搬具(純額)	7,618,152	7,632,080
工具、器具及び備品	5,653,826	5,832,468
減価償却累計額	△4,691,063	△4,860,479
工具、器具及び備品(純額)	962,763	971,989
土地	6,188,500	6,014,670
リース資産	1,285,528	1,299,544
減価償却累計額	△780,303	△917,694
リース資産(純額)	505,225	381,850
建設仮勘定	2,619,842	2,371,170
有形固定資産合計	27,928,266	27,023,846
無形固定資産		
のれん	5,594,969	4,835,083
特許権	2,253,019	2,063,923
その他	1,375,107	1,353,012
無形固定資産合計	9,223,096	8,252,019
投資その他の資産		
投資有価証券	1,602,925	923,235
長期貸付金	205,149	220,023
繰延税金資産	223,840	195,502
その他	1,582,215	1,712,431
貸倒引当金	△9,019	△9,745
投資その他の資産合計	3,605,111	3,041,447
固定資産合計	40,756,473	38,317,313
資産合計	67,609,995	68,226,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,663,427	3,293,179
短期借入金	690,000	440,000
1年内償還予定の社債	1,725,560	1,890,560
1年内返済予定の長期借入金	1,707,982	2,051,600
リース債務	191,738	226,429
未払金	3,084,573	2,299,862
未払法人税等	739,863	1,103,098
賞与引当金	1,032,431	655,258
ポイント引当金	91,669	61,406
その他	3,900,497	2,540,148
流動負債合計	15,827,741	14,561,543
固定負債		
社債	7,962,120	6,751,700
長期借入金	7,364,411	6,173,388
リース債務	342,207	179,572
長期未払金	1,799,200	1,779,632
退職給付に係る負債	209,656	272,580
繰延税金負債	41,952	47,062
資産除去債務	22,006	23,430
その他	167,858	193,032
固定負債合計	17,909,414	15,420,400
負債合計	33,737,156	29,981,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,769,340	3,288,945
資本剰余金	943,114	2,462,719
利益剰余金	31,476,622	32,840,300
株主資本合計	34,189,076	38,591,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,319	83,089
繰延ヘッジ損益	1,944	△1,650
為替換算調整勘定	△480,583	△450,823
その他の包括利益累計額合計	△387,319	△369,385
非支配株主持分	71,083	21,595
純資産合計	33,872,839	38,244,175
負債純資産合計	67,609,995	68,226,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	46,774,443	49,971,072
売上原価	20,727,354	22,532,540
売上総利益	26,047,088	27,438,532
販売費及び一般管理費	24,175,977	23,993,345
営業利益	1,871,111	3,445,186
営業外収益		
受取利息	37,946	25,246
受取配当金	9,959	7,343
為替差益	—	21,749
受取賃貸料	182,517	188,518
その他	181,223	130,589
営業外収益合計	411,647	373,447
営業外費用		
支払利息	237,186	201,009
社債発行費	35,474	—
持分法による投資損失	564	3,173
為替差損	134,885	—
賃貸収入原価	74,325	67,248
その他	72,513	134,181
営業外費用合計	554,949	405,612
経常利益	1,727,809	3,413,021
特別利益		
固定資産売却益	2,702	76,511
補助金収入	—	100,000
特別利益合計	2,702	176,511
特別損失		
固定資産売却損	1,138	1,033
固定資産除却損	29,296	33,046
投資有価証券評価損	—	3,479
特別損失合計	30,435	37,559
税金等調整前四半期純利益	1,700,076	3,551,973
法人税、住民税及び事業税	780,763	1,617,835
法人税等調整額	198,696	129,106
法人税等合計	979,460	1,746,941
四半期純利益	720,615	1,805,031
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,886	△48,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	751,501	1,853,998

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	720,615	1,805,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,894	△8,230
繰延ヘッジ損益	—	△3,595
為替換算調整勘定	224,775	30,052
持分法適用会社に対する持分相当額	966	△812
その他の包括利益合計	245,636	17,414
四半期包括利益	966,251	1,822,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	996,792	1,871,933
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,540	△49,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日付で、公募増資の払込みによる新株式発行1,500,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,198,500千円増加しております。

また、平成27年7月28日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行345,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ275,655千円増加しております。

さらに、ストックオプション行使による新株式発行70,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ45,450千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,288,945千円、資本剰余金が2,462,719千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	45,972,274	45,972,274	802,168	46,774,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,920	2,920
計	45,972,274	45,972,274	805,088	46,777,363
セグメント利益 又は損失(△)	4,715,388	4,715,388	△243,259	4,472,128

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,715,388
「その他」の区分の利益	△243,259
全社費用(注)	△2,601,017
四半期連結損益計算書の営業利益	1,871,111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	49,064,836	49,064,836	906,235	49,971,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,833	3,833	—	3,833
計	49,068,670	49,068,670	906,235	49,974,906
セグメント利益 又は損失(△)	6,435,429	6,435,429	△287,832	6,147,597

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	6,435,429
「その他」の区分の利益	△287,832
全社費用(注)	△2,702,411
四半期連結損益計算書の営業利益	3,445,186

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。